	- (事	恣	事	業	雪亚	価	表	Ę		<i>U</i> = =	+ -	₩-4-	00	/		90
一次20千及(为10千及天順)							*	РΙ	ІЩ	10			17F 79						29 日	
部局名 健康福祉部 所属名			健身	長福祉部	<u> </u>			所	属長名	i 三村	喬 正道		電	話 4	183-11	51 内	線22	10		
1. 事務	事業の信	立置付け・概要 一	更(P	LA	N)															
コード	3207	事務事業名称	環境征		務事業									短縮	3⊐ — I	ド 経常	常 3	3207	臨	诗
予算区分:	会計 01	一般会計		款	04	衛生費			項	01	保健	衛生費		目	03	環均	境衛生	費		
区 分								墓地等	等の経営の	許可等	等に関	する条例	」,四市複合	事務組合	合規約					
昭和52年)	度から,	沿橋市・習志野市・	八千代百	†・鎌	ヶ谷市の	の4市でi	運営してい	いる馬	込斎場に	系る管	理・運	営に要う	する経費を負	担する。	。(習	志野市	- おは平	 ·成 5 ⁴	年度よ	より参加
事務事業を	取り巻く	状況の変化 又、全	き後の変	化の推	測			5.7	本の柱(i	章)	01	健康福	祉都市をめる	ざして						
		こ伴い,火葬利用者 が検討されている。	数が増加	加してい	いるたと	め, 第2	斎	大	項目(節)	02	社会福	祉							
							総合		中項	3	07	墓地・斎場								
							計画			-			det eur							
							の施策	小」	項目(施領	(02	斎場の整備								
							体系													
					析	細項	 													
									施計画											
計画事業の	位置付けの	の有無		計	画事	業期	間平原	戊13年	4月 ~			ā	計画事業	費						千円
2. 事務	事業の	目的・指標・	実績	(D C))															
対象 (誰を何を:		馬込斎場の運営																		
ているのか)	船橋,八千代,第 ※平成19年度に宝				共同運	営である。 													
※平成19年度に実際に行ったこと: ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入した。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し、火葬場運営計画等を協議した。 手段 (具体的な事務事業																				
のやり方、手順、詳細) ※平成20年度に計画していること: ①馬込斎場を運営する四市複合事務組合へ分賦金を納入する。 ②四市複合事務組合運営協議会及び馬込斎場連絡協議会に参加し、火葬場運営計画等を協議する。 ③第2斎場整備の検討を進める。																				
意図																				
結果 (どんな結: つけるのか)		入力対象外																		
区分								単位				3年度 19年度			2 0 年度					
	+ヒ+亜 -	文担***							箇所		実績		計画 計画		実績			Ē	十画 ———— 1	
対象指標		1 斎場数							<u></u> 直刀			I		I			I			I
对 多相保	指標3																			

区分			224 / L	18年度	19年	20年度	
			単位	実績	計画	実績	計画
	指標 1	斎場数	箇所	1	1	1	1
対象指標	指標 2						
	指標3						
	指標 1	馬込斎場の式場数	室	4	4	4	4
活動指標	指標 2	火葬炉の数	基	15	15	15	15
	指標3						
	指標1	馬込斎場の施設利用件数 (四市合計)	件	6, 944	6, 610	7, 029	7, 100
成果指標	指標 2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標 2						
	指標3						

⊐ -	- ド 3207	事務事	業名称	環境衛生事務事業		所属名	健康福祉課				
			単位	18年度	1 9 年度				2 0 年度		
一			一手四	実績	計画	実績		計画			
		国	千円	0	0						
		県	千円	0	0						
	財源内訳	地方債	千円	0	0						
_		一般財源	千円	65, 180	75, 340			73, 933	69, 374		
事業費		その他	千円	0	0			0	0		
費 (A)	主な事業費の内訳			管理運営費45,976千円 施設整備19,204千円	管理運営費59, 482千円 施設整備15, 858千円		費59, 482刊 14, 451千P		管理運営費54,073千円 施設整備15,301千円		
人件費(B) 千円			千円	1, 306. 5	652. 4		2, 174. 5		2, 174. 5		
ト — タ ル コ ス ト (A) + (B)			千円	66, 486. 5	75, 992. 4			76, 107. 5	71, 548. 5		

3. 事務事業の評価(SEE)

3.	事務事業の評価(SEE)							
評価 類型	評価事項	評価区分	理由					
		☑ 結び付いている	火葬場は市民生活に必需であり、市民の要請に応えるものである。					
	①事業目的が上位の施策に結びついているか?	□ 結び付くが見直しの余地がある						
		□ 結びつきが弱い・ない						
		□ 達成している	分賦金の負担により斎場の管理運営が行われているが、今後も市民にサービスの高い施設を提 供していくことが求められる。また、第2斎場の建設も検討中である。					
目	②すでに所期目的を達成しているか?	☑ 達成していない						
口的妥当	※「達成している」を選んだ場合、⑥ に進んでください。	□ 評価対象外事項						
性	③民営化で目的を達成できるか?	□ 可能性はある	火葬場の経営は施設の特殊性から、永続的・環境衛生的に火葬場の提供ができる地方公共団体 が行うことが好ましい。					
	※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。	☑ 可能性はない						
	(民間委託は、権限に属する事務事業 等を委託することで、民営化とは異な る。)	□ 評価対象外事項						
		☑ 現状のままでよい	四市が合同で行っている事業であるため。					
	④「対象」・「意図」の設定は現 状のままで良いか?	□ 見直す必要がある						
		□ 評価対象外事項						
		□ 有効性向上の可能性がある						
	⑤今後、有効性や効率性を向上さ せる可能性はあるか? 可能性がある場合は、⑤-2,	□ 効率性向上の可能性がある						
	3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記	☑ 両方可能性がある						
	入する。 	□ 可能性がない						
有効	⑤-2 有効性や効率性を向上さ	□ 民間委託等	高齢化に伴い火葬等の件数増加が見込まれることから、火葬場の分散化の具体策として四市複合事務組合において第2斎場の整備を目指している。					
性	せる手段は何か? 該当する手段を選択し、	□ 臨時的任用職員等の活用						
	具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」	□ IT化等業務プロセスの見直し						
主	である場合は、該当する類 似事業を記入する。	□ 受益者負担の見直し						
		□ 類似事業との統合・役割見直し	類似 1 実施主体 (所管部署) 事務 (所管部署)					
		▶ 上記以外の方法	事業 名称 2 実施主体 (所管部署)					
	⑤-3 推進にあたっての課題はあるか?(一時的な経費増・市	☑ ある	建設にあたっての費用の一時的な増加,周辺地権者への対応が必要と見込まれる。 -					
	民の理解等)	口ない						

	- ド 3207 事務事業名称	環境衛生事務事業		所属名 健康福祉課
	3207 学物学未有你			
今後の方向は	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	 □ 改革・改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 □ 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 □ 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続 	大発寺の什 <u>級</u> 増加に対応するため、施設 推進を図る。	股環境等への配慮のもと第2斎場の整備をはじめ事業の
性	⑦この事務事業の今後の経費・成果 の方向性について選択し、右欄に理 由を記載する。	超 A 削減 不 内上 □ 不変 □ 低下 □	変 増 加	用は増加するが,火葬炉需要への対応が図られる。
※内	事務事業に対する市民や議会の意見(部サービス業務の場合は、住民ではな からは,近距離に立地する火葬場設置	く、サービス利用者、関連部門の	意見や実態など	
所属長コメント	火葬炉需要への対応から緊急の課題と んでいることから、組合及び関係市と			あるものの、本市での公募による候補地選定に取り組
評価調整委員会評価	② 改革改善して継続 □ 手法プロセスの改革・改善 ② 事業規模の拡大・縮小 □ 統合・役割見直し □ その他 □ 廃止 □ 休止 □ 現状のまま継続	当課の評価のとおり,第2斎場の塾	を備を推進していくべき。	